

(特非) 環境ネットワーク埼玉

都市と森をつなぐ森林保全のための 基礎整備事業

イベントの 延べ参加者数	240 人
イベント参加者 の満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	30%



プロジェクトサイトにおいて森の確認と今後の方針検討

◆成果と工夫したポイント

- 成果** プロジェクトサイトでの地元住民を交えた現場視察、各種の試行的なイベント等の実施を通じて、これまで受け身だった地域の人々の意識変化が徐々に見られ、本取組みに主体的に参加・協力する機運が生まれ始めている。
- 工夫** 森の環境教育プログラム作成にあたっては、地域住民を巻き込み、地域の課題について ESD の視点を入れた。

課 題

秩父市吉田地区をプロジェクトサイトとし、本事業を通して森林や農地等の自然資源を活用して、都市部の住民や企業等との交流を活性化し地域振興につなげること。

活動内容

- 活動 1. 環境教育プロジェクト検討会を設置しプログラムの検討を行った。
- 活動 2. さいたま市の親子対象に作成した森の環境教育プログラムを試行した。
- 活動 3. さいたま市内の企業・市民向けのセミナーを開催し、次年度以降の参加者の拡大につなげた。
- 活動 4. 広く情報発信を行うため、当団体の HP 上に専用ページを作成した。
- 活動 5. さいたま市内の企業をリストアップし、CSR 活動に関する意識調査を行った。



森の Good Job 体験学習会の様子

今後の課題

- ・大学生等の若者や地元住民が、スタッフや講師等として主体的な参加が得られるよう、環境教育プログラムの改善が必要。
- ・企業の CSR として活用する場合、受け入れ態勢の整備と参加しやすい仕組み作りが必要。